

研究会等の開催と研究発表題目

1. 平成6年度

シンポジウム：「沖縄の歴史情報研究」はいかにあるべきか

日時：平成6年1月23日(日)

会場：沖縄国際大学(宜野湾市)

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時：平成6年10月22日

会場：京大会館 216号室

研究報告：岩井茂樹「貿易品目リストとその周辺」

総括班主催第1回「沖縄の歴史情報」研究会

日時：平成6年10月31日(月)

会場：東京大学史料編纂所会議室

研究報告・解説：横山伊徳、上原兼善、原口泉、ほか

史料展観：史料編纂所所蔵島津家文書

見学：東京大学史料編纂所の情報システムについて

総括班主催第2回「沖縄の歴史情報」研究会

日時：平成6年11月19日(土)

会場：沖縄県立図書館研修室

研究課題：「歴代宝案」の情報化について

研究報告

(1)西里喜行「歴代宝案について」

(2)富島 壮英(沖縄県立図書館歴代宝案編集室)「『歴代宝案の』編纂事業について」

(3)田名 真之(那覇市文化局歴史資料室主幹)「琉球家譜について」

沖縄3研究班・総括班合同研究会

日時：平成6年11月20日(日)

会場：沖縄ホテル 会議室

研究課題「沖縄の歴史情報研究の課題」

総括班主催第3回「沖縄の歴史情報」研究会

日時：平成6年12月4日(日)：

会場：京都教育文化センター

第1部 研究報告

(1)豊見山和行「琉球国の進貢貿易における護送船の意義について」

(2)井上裕正「アヘン戦争と琉球」

(3)星野聰「コンピュータによるテキストの処理と利用」

第2部 (全体会議)重点領域「沖縄の歴史情報研究」・課題と方法

総括班主催第3回「沖縄の歴史情報」研究会見学会

日時：平成6年12月5日

会場：国立民族学博物館

研究課題：国立民族学博物館情報システムの見学

解説と案内：杉田繁治教授(国立民族学博物館情報部長)

沖縄3研究班合同研究会

日時：平成6年12月24日

会場：沖縄国際大学南島文化研究所会議室

研究報告：系数兼治「呈稟文書」について

沖縄3研究班合同研究会

日時：平成7年2月18日

会場：沖縄国際大学南島文化研究所会議室

研究報告：

新城敏男(石垣市史編集室主幹)「八重山における苗字の成立について」

コメンテーター：田名真之(那覇市文化局歴史資料室主幹)

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時：平成7年3月11日

会場：京大会館 217号室

研究報告：

(1)松浦章「明清時代使琉球封舟について」

(2)村尾進「カントンシステム」のなかの都市広州

(3)歴代宝案輪読会

研究セミナー「東洋学へのコンピュータ利用」(京都大学大型計算機センター)

日時：平成7年3月11日

会場：京都大学大型計算機センター 3階講習室

研究発表(本領域研究に関する発表課題)：

(1)星野聰「東洋学研究へのコンピュータ利用の研究と課題」

(2)勝村哲也「電子漢字の諸問題」

(3)柴山守「琉球外交文書『歴代宝案』における構文解析の試み」

(4)桶谷猪久夫「オブジェクト指向技法を適用した文書データベースの構築に関する考察」

2. 平成7年度

沖縄3研究班合同研究会

日時：平成7年5月20日(土)17:00~19:00

会場：沖縄国際大学南島文化研究所会議室

研究報告：

- (1)赤嶺守「明清档案について」
- (2)金城善「沖縄関係官報記事目録データベースの作成について」

総括班・沖縄3研究班合同研究会

日時：平成7年7月8日

会場：沖縄国際大学南島文化研究所会議室（宜野湾市宜野湾）

研究課題：

- (1)平成7年度の研究計画について、
- (2)沖縄地域史料の情報化について、
- (3)画像データベース「琉球史料集成」の構築について

総括班研究会「沖縄歴史資料情報化の諸問題」

日時：平成7年7月9日

会場：沖縄国際大学 5号館 106教室（宜野湾市宜野湾）

研究報告：

- (1)柴山守「コンピュータによる「歴代宝案」の構文解析」
- (2)桶谷猪久夫「文書データベース構築の諸問題」
- (3)並木美太郎「沖縄歴史情報のネットワーク構築」
- (4)星野聰「沖縄歴史情報研究におけるフォトCD利用の可能性」

総括班研究会 研究セミナー「歴史資料情報化の諸問題」

日時：平成7年7月22日

会場：アピカル イン 京都(通称：松ヶ崎会館)会議室

研究報告：

- (1)岩崎宏之「沖縄歴史資料情報化の課題」
- (2)柴山守「歴代宝案の情報化と文字データベース」
- (3)石上英一「東京大学史料編纂所の歴史情報システムと島津家文書マイクロフィルム・データベースプロジェクト」
- (4)篠塚富士男「筑波大学における電子図書館の試み」
- (5)勝村哲也「『漢字典』に対する属性付与について」

平成7年度第1回総括班研究会

日時：平成7年7月23日

会場：くに荘（京都市上京区）会議室

研究課題：重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」平成7年度の研究課題について

第1部 研究報告

- (1)黨武彦「中国第一歴史档案馆の所蔵史料について」
- (2)赤嶺守「歴代宝案とその周辺史料」
- (3)松原孝俊「韓国における沖縄研究と琉球史料」
- (4)田畑千秋「奄美地域における史料の所在状況」

第2部（全体会議）重点領域研究「沖縄の歴史情報」- 課題と方法 -

(1)平成7年度の研究課題

(2)画像データベース「琉球史料集成」の構築

総括班研究会 - シンポジウム「沖縄の歴史情報研究の課題」 -

日時：平成7年8月4日

会場：沖縄県公文書館講堂（沖縄県南風原町新川）

共催：文部省科学研究費重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」総括班・沖縄県公文書館

後援：沖縄県地域史協議会

第1部：講演 村井章介「中世国家の境界と琉球・蝦夷」

第2部：シンポジウム「沖縄の歴史情報研究の課題」

(1)仲地哲夫「沖縄地域史研究の現状と史料収集の課題」

(2)豊見山和行「琉球家譜の情報化」

(3)赤嶺守「歴代宝案研究と情報」

(4)柴山守「歴代宝案全文データベースと検索システム」

(5)石田晴久「沖縄歴史情報研究と情報ネットワーク」

(6)岩崎宏之「画像データベース「琉球史料集成」の構築」

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時：平成7年8月28日(月)13:00～17:00

会場：京大会館 217号室

研究報告：藤本 幸夫「朝鮮版使琉球録について」

『歴代宝案』輪読会

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国江蘇浙江・朝鮮 - 」研究会

日時：平成7年9月6日

会場：九州大学文学部東洋史研究室

研究報告：中村質「近世環シナ海地域物流関係史料について - 日本市場を中心として - 」

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時：平成7年10月1日

会場：京大会館 217号室

研究報告：岡本隆司「市船司から海関へ」

『歴代宝案』輪読会

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国江蘇浙江・朝鮮 - 」研究会

日時：平成7年10月28日

会場：九州大学文学部東洋史研究室（福岡市東区箱崎町 6-19-1）

研究報告：川勝賢亮「環東シナ海地域間交流史に関する漢籍史料について」

総括班研究会 - シンポジウム 画像データベース「琉球史料集成」の構築 -

日時：平成7年11月5日

会場：国立教育会館（東京、虎の門）503号室

研究課題：シンポジウム 画像データベース「琉球史料集成」の構築

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時：平成 7 年 11 月 24 日～27 日

会場：沖縄県公文書館・琉球大学・沖縄県立博物館ほか

研究課題：沖縄歴史資料の情報化について、ほか

総括班研究会(全体会議)「平成 7 年度の研究成果」

日時：平成 7 年 12 月 3 日

会場：国立教育会館(東京、虎の門)501 会議室・601 大会議室

研究課題：平成 7 年度の研究成果について

第 1 部「環東シナ海世界の地域間交流史」の研究成果

(1)濱下武志「琉球をめぐる日本・南海の地域間交流史」の研究成果

(2)井上裕正「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」の研究成果

(3)川勝賢亮・中村質「環東シナ海地域間交流史 - 中国江蘇浙江・朝鮮 - 」の研究成果

第 2 部 シンポジウム「沖縄の歴史情報」の研究成果

- 研究支援応用情報システムの整備状況と沖縄歴史資料の情報化の進展状況 -

データベース、画像データベース、ネットワーク、漢字処理

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国江蘇浙江・朝鮮 - 」研究会

日時：平成 7 年 12 月 8 日(金)13:30～17:00

会場：九州大学文学部東洋史研究室

研究報告：山元 規靖(九州大学大型計算機センター)「歴史研究におけるインターネットの効用」

公募研究「琉球・沖縄に関する地図・地誌資料の集成」研究会

日時：平成 8 年 1 月 19 日

会場：沖縄県立博物館・那覇市首里公民館

研究課題：沖縄県立博物館所蔵の古地図について

研究報告：

(1)長谷川孝治「近世ヨーロッパの琉球認識と地図」

(2)平岡 昭利「古地図に現われた大東諸島と領土の確定」

(3)町田 宗博「沖縄の集落と地図」

(4)金田 章裕「日本における古地図の機能と表現対象」

総括班研究会「奄美の琉球史料 - 奄美地域の歴史情報研究 - 」

日時：平成 8 年 1 月 20 日・21 日

会場：名瀬市立奄美博物館

講演会：山下文武氏「奄美の市町村史誌編纂と琉球史料・近世史料」

研究報告：

第 1 部 奄美研究の歩みと琉球資料

(1)倉井則雄「奄美郷土研究会の歩みと奄美史研究」

(2)三木 靖「奄美諸島学術調査と琉球資料」

第 2 部 奄美の琉球資料

(1)石上英一「古琉球時代の奄美社会と琉球史料」

(2)弓削政巳「近世奄美と琉球史料」

(3)林蘇喜男「奄美民俗資料と琉球」

シンポジウム「奄美の琉球史料 - 奄美地域の歴史情報研究 - 」

計画研究「琉球をめぐる日本・南海の地域間交流史」研究会

日時：平成 8 年 1 月 27 日

会場：東京大学史料編纂所大会議室

研究報告：浅見雅一「スペインのアジア関係資料について」

研究セミナー「東洋学へのコンピュータ利用」(京都大学大型計算機センター主催)

日時：平成 8 年 3 月 29 日

会場：京都大学大型計算機センター 3階講習室

研究発表(本領域研究に関係する発表課題)

(1)星野 聡「画像処理の歴史研究への利用例」

(2)勝村 哲也「JIS-X0220 の実用化について」

(3)並木 美太郎「WWWによるマイクロフィルム画像検索システム」

(4)桶谷 猪久夫「琉球家譜データベースの枠組みについて」

(5)柴山 守「古文書画像の入力と文字抽出について」

3. 平成 8 年度

総括班研究会「沖縄の歴史情報」データベース構築の諸問題

日時：平成 8 年 6 月 15 日

会場：国立教育会館 会議室

研究課題：「沖縄の歴史情報」データベース構築の諸問題

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」(夫馬班)研究会

日時：平成 8 年 6 月 16 日

会場：京大会館 107 号室

研究報告：村尾 進「港市としての福州と広州」

総括班・計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国江蘇浙江・朝鮮 - 」(川勝班)合同研究会

研究課題：「南九州と琉球・中国・朝鮮」

日時：平成 8 年 6 月 16 日

会場：鹿児島大学中央図書館・法文学部

講演：芳即正氏(尚古集成館館長)「弘化期琉球外交事件と薩摩藩」

研究報告：

(1)徳永和喜「島津氏の対外交渉」

(2)黒木国泰「日向沿岸漂着唐船について」

(3)松尾千歳「磯地区の琉球関係史料について」

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」(夫馬班)研究会

日時：平成 8 年 7 月 21 日(日)14:00~17:00

会場：京大会館 217 号室

研究報告：ジョシュア・フォーゲル(カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)「翁広平とその『吾

妻鏡補』 - 清代における中国人の日本知識 - 」

総括班研究会「沖縄の歴史情報研究の現況と課題」

日時：平成 8 年 7 月 24 日・25 日

会場：筑波大学附属図書館(茨城県つくば市天王台)

研究発表：

第 1 日(7 月 24 日)

- (1)岩崎 宏之「沖縄の歴史情報研究」の課題と研究経過
- (2)並木 美太郎・柴山 守「WWWによるマイクロフィルム版画像データベース「琉球史料集成」の検索システム
- (3)星野 聡「歴史関係情報 CD-ROM について」
- (4)岩崎 宏之・黒田 義人・小野 博「CD-ROM による画像データベース「琉球史料集成」の作成
- (5)横山 伊徳「インターネットによる歴史情報の提供について」
- (6)山本 博文「島津家文書について」
- (7)石上 英一「島津家文書の目録データベースとマイクロフィルム・ライブラリ」

第 2 日(7 月 25 日)

- (1)桶谷 猪久夫「漢文文書データベース「琉球家譜」の構築と検索機能」
- (2)豊見山 和行「「琉球家譜」情報化の問題点」
- (3)柴山 守「『歴代宝案』の構文解析と全文テキスト検索システム」
- (4)赤嶺 守「清代中琉関係档案資料の情報化」
- (5)星野 聡「インターネットの学術的利用について - とくにイギリスの場合 - 」

総括班研究会「沖縄歴史情報研究の現況と課題」

日時：平成 8 年 8 月 29 日(木)・30 日(金)

会場：沖縄国際大学

研究課題：沖縄歴史情報研究の現況と課題

第 1 日(8 月 29 日)

研究報告：

- (1)豊見山和行「「琉球家譜」情報化の問題点」
- (2)桶谷猪久夫「漢文文書データベース「琉球家譜」の構築と検索機能」
- (3)仲地 哲夫「琉球産業制度資料」の情報化による琉球語彙の研究」
- (4)岩崎 宏之「「沖縄の歴史情報研究」の課題と研究経過」

シンポジウム「沖縄歴史資料の統合と情報ネットワークの構築」

司会：高良倉吉(琉球大学)・勝村哲也(京都大学)・豊見山和行(琉球大学)

パネラー：田名 真之(那覇市歴史資料室)「尚家文書の整理の現状について」

中村 誠司「沖縄における地方史料の情報化」

萩尾 俊章(沖縄県立博物館)「沖縄県立博物館収蔵品のデータベースの諸問題」

富永 一也(沖縄県公文書館)「沖縄県公文書館のデータベースシステムと管理システムについて」

第2日(8月30日)

研究報告:

- (1)山本 博文「島津家文書について」
- (2)赤嶺 守「清代中琉関係档案資料の情報化」
- (3)星野 聰「インターネットの学術的利用について - とくにアメリカ・イギリスの場合 - 」
- (4)柴山 守「『歴代宝案』の構文解析と全文テキスト検索システム」
- (5)岩崎宏之「CD-ROM による画像データベース琉球史料集成の作成」
- (6)柴山 守「WWW によるマイクロフィルム版画像データベース『琉球史料集成』の検索システム」

総括班・計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国江蘇浙江・朝鮮 - 」合同研究会研究会

研究課題:「環シナ海地域間交流と平戸・長崎」

日時:平成 8 年 9 月 28 日(土)・29 日(日)

会場:長崎市・平戸市

第1日(9月27日)

長崎県立図書館所蔵郷土資料等見学、長崎市内近世環シナ海域交流史関係史跡・史料等見学

第2日(9月28日)

会場:平戸市離島開発総合センター

研究報告:

- (1)中村 質「平戸・長崎の唐人社会と貿易」

講演:宮崎賢太郎(長崎純心大学教授)「現在の生月島カクレキリシタンの信仰形態」

「オラショ」奉唱(大岡留一氏ほか数氏、原語テキスト配付)

平戸市内近世環シナ海域交流史関係史跡・史料等見学

第3日(9月29日)

会場:平戸市離島開発総合センター)

研究報告:

- (1)佐伯 弘次「十五世紀における肥前松浦地方と東アジア」
- (2)萩原 博文・前田 秀人(平戸市史編纂室)「平戸氏関係の新出史料」
- (3)川勝 賢亮「鄭成功と『国姓爺』の間 - 鎖国期日本人のアジア観 - 」

松浦史料博物館見学(解説:学芸員 木田昌宏氏)ほか

計画研究「環シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時:平成08年10月20日(日)14:00~17:00

会場:京大会館 220 号室

研究報告:

- (1)藤本 幸夫「歴代宝案輪読」
- (2)松浦 章「使琉球録解題研究報告、崇禎6年使琉球使 - 杜三策・胡靖 - 」

総括班研究セミナー「沖縄歴史情報活用の実際」

日時:平成08年11月8日(金)・9日(土)

会場:大阪市立大学学術情報総合センター 文化交流室

研究課題:「遅れて来た人たちのために」

第1日(11月8日 13:00~17:00)

- (1)中野 秀夫(大阪市立大学学術情報総合センター)「インターネットの最新動向について」
- (2)豊見山 和行「パソコン初級者のテキストデータ利用法」
- (3)市川 彰(茨城県立歴史館史料部)「パソコンを使った史料管理と検索サービス」
- (4)横山 伊徳「ネットワークによる歴史情報の共有」
- (5)岩井 茂樹「インターネット時代の歴史文献処理」

第2日(11月9日 10:00~12:00) 大阪市立大学学術情報総合センター見学

公募研究「琉球・沖縄に関する古地図資料の集成」研究会

日時：平成8年11月14日(木)13時~16時

会場：神戸市立博物館 会議室(神戸市中央区京町24)

研究報告：

- (1)三好 唯義(神戸市立博物館)「館蔵琉球関係古地図について」

総括班・公募研究上原班合同研究会「朝鮮通信使および東アジアの漂流民をめぐる諸問題」

日時：平成08年11月15日(金)13:00

会場：牛窓町役場・福山市鞆の浦歴史民俗資料館

第1日(11月15日)会場：牛窓町役場会議室

講演 頼 祺一「朝鮮通信使と文化交流」

辛 基秀(青丘文化ホール代表)

「朝鮮通信使を描いた日本の絵師たち - 『体系朝鮮通信使(全8巻、明石書店)を完結して - 』」

第2日(11月16日)会場：牛窓町役場会議室

研究報告

- (1)池内 敏(鳥取大学)「朝鮮人漂流民と送還体制」
- (2)木部 和昭「長州藩における朝鮮人漂着民について」

講演 松本 幸男(郷土史家)「備前尻海村船頭漂流記」

第3日(11月17日) 巡見：鞆の浦歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館(福山市)ほか

沖縄4研究班合同研究会「人頭税研究会」(共催：沖縄国際大学南島文化研究所)

日時：平成8年11月22日

会場：沖縄県立図書館宮古分館(平良市東仲宗根42番地)

研究発表：

- (1)来間泰男「地割制度と人頭税」
- (2)仲宗根将二「最近の人頭税研究の問題意識と論点整理」
- (3)仲地哲夫「宮古島の社会と人頭税制度 - 近世後期~「日慣」期を中心に - 」

総括班研究会(「沖縄の歴史情報研究」研究成果中間報告会)

日時：平成8年12月9日(月)

会場：富士写真フイルム株式会社本社ホール(東京都港区西麻布2-26)

研究課題：「沖縄歴史情報研究の成果と課題」(本領域研究の研究成果の発表)

第1部「沖縄の歴史情報研究」の研究成果 第1部「沖縄の歴史情報研究」の研究成果

- (1)長谷川 孝治「古地図に描かれた琉球」
 - (2)画像データベース「琉球史料集成」の構築
 - 柴山 守「FDIP6200 システムの運用」
 - 岩崎 宏之「「琉球史料集成」の検索データベース」
 - (3)岩井 茂樹「歴史情報データベースにおける漢字処理」
 - (4)横山 伊徳「ハイパーテキストによる歴史資料の情報化」
 - (5)柴山 守「歴代宝案ならびに関連史料の検索システム」
- 第2部 パネルディスカッション「沖縄歴史情報の「共有」のために」
計画研究「環シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会
- 日時：平成 8 年 12 月 22 日(日)
会場：京大会館 220 号室

研究報告：

- (1)夫馬 進「郭汝霖「使琉球録」
- (2)村尾 進「周煌「琉球国志略」

4 . 平成 9 年度

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時：平成 9 年 6 月 15 日(日)14:00～17:00
会場：京大会館 103 号室

研究報告：原田 禹雄氏「琉球の冊封について」

平成 9 年度第 1 回総括班研究会「トライ！ データ・プレゼンテーション」

日時：平成 9 年 9 月 6 日(土)10:00～17:00
会場：東京大学史料編纂所 大会議室 他

研究課題

- (1)横山 伊徳「東京大学史料編纂所データベースの概要について」
- (2)「Web でみる世界の歴史情報」
- (3)「こうする、ホームページの作り方」
- (4)「マイクロフィルム・スキャンニング工房」

計画研究「環東シナ海地域間交流史 - 中国福建を中心として - 」研究会

日時：平成 9 年 9 月 28 日(日)13 時～17 時
会場：京大会館 220 号室

研究報告：研究成果の取りまとめについて、使琉球録解題について、研究報告、その他
総括班研究会「重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」の研究成果」

日時：平成 9 年 10 月 11 日(土)10:00～17:00

会場：大阪市立大学学術情報総合センター 文化交流室

研究課題：重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」の研究成果

研究報告：

- (1)松井 洋子「一七世紀オランダ東インド会社文書に見る日本と南海」

- (2)三浦 国雄(大阪市立大学文学部)「術数書から見た東アジアにおける琉球の位置」
 - (3)岩崎 宏之「画像データベース「琉球史料集成」の構築」
 - (4)豊見山 和行「フルテキスト・データベース「琉球家譜」等の活用法 - 中山王世子の上国を例として - 」
 - (5)岩井 茂樹「琉球冊封使関係資料情報化の課題」
 - (6)原 正一郎(国文学研究資料館)「国文学関係資料情報化の課題」
- 総括班研究会「重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」の成果今後の課題」

日時：平成 9 年 12 月 13 日(土)・14 日(日)

会場：沖縄県公文書館・沖縄国際大学

第 1 日(12 月 13 日)会場：沖縄県公文書館ホール

記念講演 神田 信夫「歴代宝案と中国档案」

経過報告 岩崎 宏之(領域代表者)「重点領域研究「沖縄の歴史情報研究」の研究経過
研究発表

- (1)藤本 幸夫「書籍を通じて見た朝鮮・琉球の交流」
- (2)松原 孝俊「朝鮮に実在した琉球語通詞」
- (3)川勝 賢亮「環シナ海地域間交流(江蘇・浙江・朝鮮)史料のデータベース化の諸問題 - 川勝班作成データベースの意義 - 」
- (4)上原 兼善「薩摩藩天保改革と琉球 - 九州大学文化史研究所所蔵文書の紹介」
- (5)新城 敏男「沖縄の地域史像を豊かに - 地方史料の活用 - 」
- (6)仲地 哲夫「琉球産業制度資料」にみる琉球語彙」

第 2 日(12 月 14 日)会場：沖縄国際大学

研究報告：

- (1)長谷川 孝治「琉球・沖縄の古地図資料の多様性
- (2)赤嶺 守「歴代宝案」とその関連資料の情報化」
- (3)柴山 守「歴代宝案」情報化の問題点」
- (4)豊見山 和行「琉球家譜」等の情報化と活用法」
- (5)桶谷 猪久夫「WWWを利用した「琉球家譜」検索システムの実現」
- (6)荒野 泰典「世界図に見る琉球」()山本 博文「島津家文書中の琉球関係史料について」
- (7)横山 伊徳「ハイパーテキストによる琉球関係資料の情報化」
- (8)柴山 守「WWWによる琉球史料画像データベース検索」
- (9)並木 美太郎「WWWによるマイクロフィルム画像検索システムの開発」
- (10)岩崎 宏之「琉球史料画像情報の収集と検索データベース」
- (11)星野 聡「東洋学へのコンピュータ利用の経緯と展望」

討論と総括 - 沖縄の歴史情報研究の成果と今後の課題 -